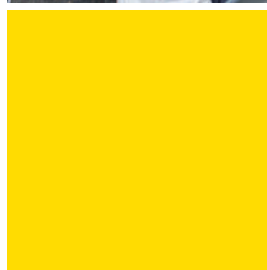


名古屋市立大学の 地域貢献 2019

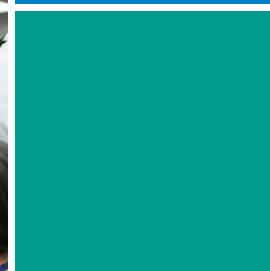


地域貢献度
ランキング
2017
東海地域
No.1



誇りを持ち、
愛される大学を目指して

No.1



ごあいさつ

名市大は、教育・研究と並んで大学の重要な使命である「社会貢献」を推進するため、平成26年度に「社会連携センター」を設置し、名市大が有する資源と学外のニーズのマッチングに積極的に取り組んでいます。

また、15年後の明るい未来を築くため、同年度に「名市大未来プラン」を策定し、「誇りを持ち、愛される名市大」を始めとした4つのビジョンを掲げて日々邁進しており、教育研究成果を地域に還元するため、名古屋市役所と積極的に連携しています。

本パンフレットでは、名市大での社会貢献活動の一端を紹介しております。皆様に、名市大が取り組んでいる活動実績を知っていただくとともに、さらなる連携のきっかけとなれば幸いです。

今後とも、誇りと愛に満ちた大学となることを目指し、より一層力を入れて社会貢献に取り組み、地域社会の発展に寄与してまいります。引き続き皆様からの温かいご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

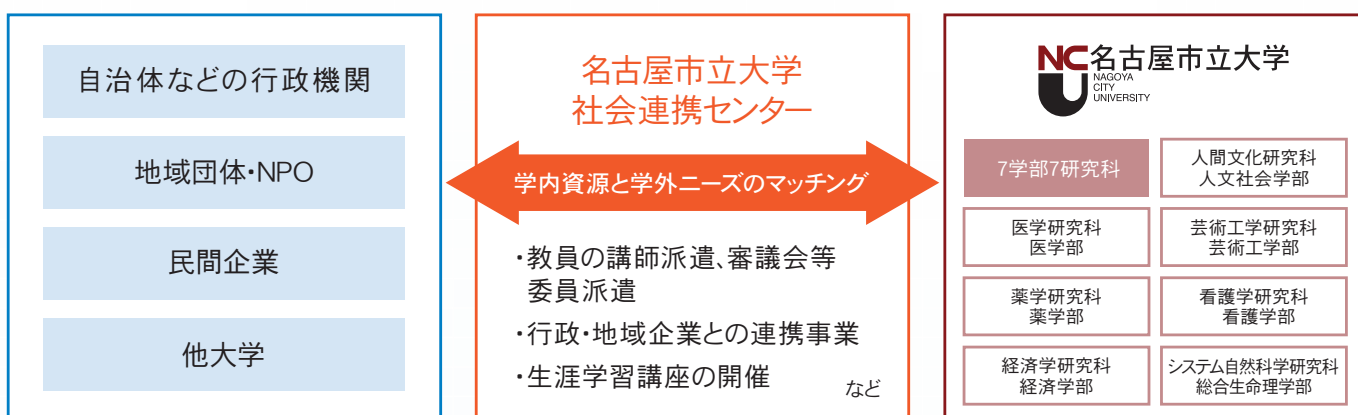
社会連携センター長 **明石 恵子**

名市大未来プラン(平成26年10月策定) —4つのビジョン—

- ① 誇りを持ち、愛される名市大 —教育・研究・診療の環境づくり—
- ② 名古屋市と共に発展する名市大 —名市大の明るい未来づくり—
- ③ 戦略性を持って世界に飛躍する名市大 —和、実行力、戦略性、透明性のある大学づくり—
- ④ 経営基盤が安定した名市大 —経営改善に向けた体制づくり—

社会連携センター

社会連携センターは、大学の有する教育、研究成果等の資源を活用し、市民、地域社会、企業等と協働し、社会貢献を行うことを目的としたセンターです。教員の講師派遣や地域との連携事業などに対して、本学教員とのマッチングをコーディネートしています。



本学との連携に関するご相談・お問合せは、社会連携センターで受け付けています。お気軽にご相談ください。



社会連携センター(事務局学術課内)

電話番号 052-853-8041 FAX番号 052-841-0261 E-mail shakaikoken@sec.nagoya-cu.ac.jp

教員の派遣

本学では、教育研究成果の地域への還元の一環として、自治体・地域団体等が主催する講演会・研修会等の講師または審議会等の学識経験者として教員を派遣しています。

I 講演会等への教員の派遣

地域の生涯学習のニーズに応え、多様な学習機会の提供に貢献する講座から教員の専門的な知見を生かした講座まで、幅広いテーマに対し本学の教員を講師として派遣しています。

<p>教えて博士！ なぜ？なに？ ゼミナール</p>	<p>名古屋市教育委員会が実施する「その道の達人派遣事業」に協力し、名古屋市立の小・中・高等学校等への出前講座を行っています。各学校の依頼に応じて、健康・福祉・環境問題・ものづくりなどの専門分野を子どもたちに教えています。その他、本学の留学生による「留学生との交流」も実施しています。</p>
<p>教員免許状 更新講習</p>	<p>名古屋市教育委員会が実施する「教員免許状更新講習」に、本学教員を講師として派遣しています。「教材の工夫」、「子ども理解」、「子どもの貧困」、「キャリア教育」、「持続可能な社会づくりに向けた教育」といった教育現場で活用できるテーマで講義を行っています。</p>
<p>名古屋 土曜学習 プログラム</p>	<p>名古屋市教育委員会が実施する「名古屋土曜学習プログラム」に、本学教員を講師として派遣しています。名古屋市立の小学校に出向き、体育館を会場として「体のしくみ」、「科学実験」、「沖縄の文化」などの体験型の学習プログラムを実施しています。</p>



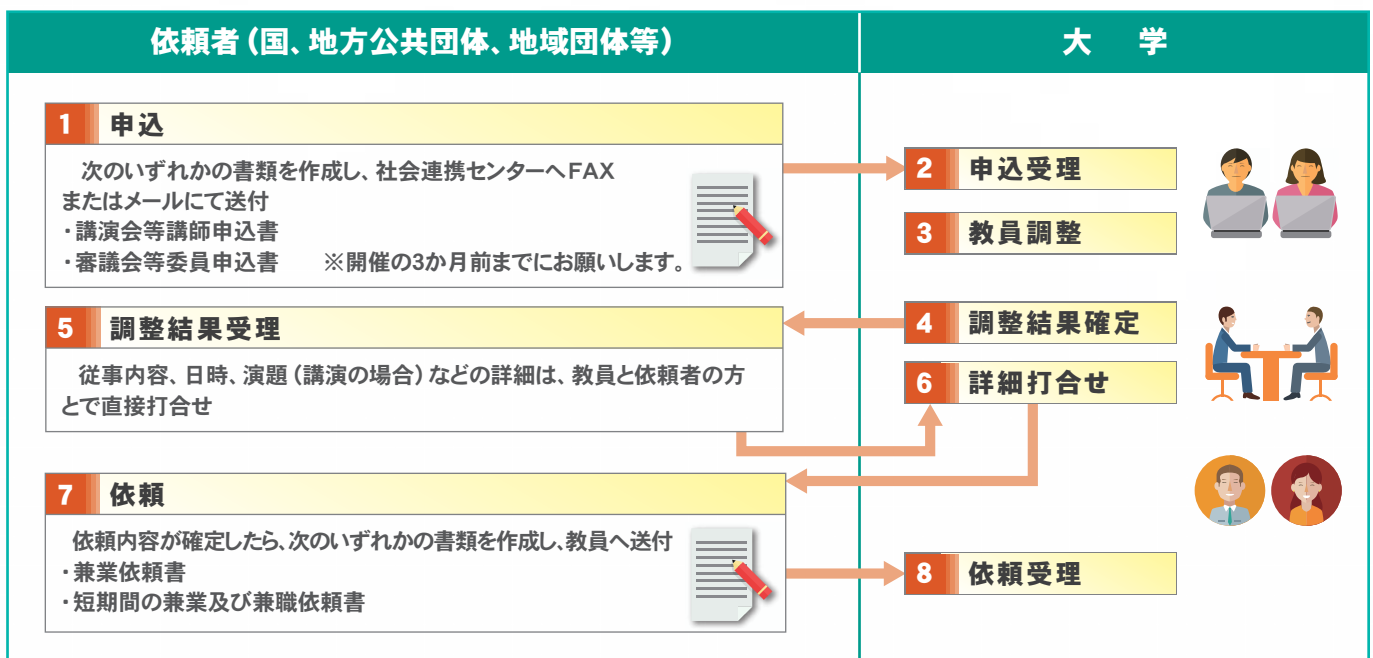
II 審議会等への教員の派遣

本学の教員が環境・都市計画・次世代育成支援など各種審議会等委員に就任し、様々な政策形成に寄与しています。

<p>主な審議会等への 就任実績</p>	<p>名古屋市環境審議会 / 名古屋市広告・景観審議会 なごや子ども・子育て支援協議会 など</p>	<p>名古屋市の審議会等委員 就任教員数(平成30年度延べ数)</p>	<p>98人</p>
--------------------------	--------------------------------------------------------	-----------------------------------------	------------

教員派遣を
ご希望される方は…

教員派遣手続きの流れ



※申込書等各書類の書式はウェブサイトからダウンロード可能です。

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/science/contribution/haken/index.html>

※調整した結果、お引き受けできない場合もございますので、何卒ご了承ください。

🔍 名市大 教員派遣 🔍 検索



地域との連携

本学は、教育研究成果を地域に還元し、また、名古屋大都市圏の発展に寄与するため、行政、企業、地域住民・団体等と連携して多岐にわたる活動を行っています。

名古屋市との連携

■名古屋観光コンベンションビューローとの連携

平成30年3月、本学は名古屋観光コンベンションビューローと連携協力協定を締結し、様々な連携を進めています。同協定に基づく取組として、名古屋観光コンベンションビューローから認定を受けた学生が、海外留学先で観光情報など名古屋の魅力を発信する「NCU名古屋国際PR特派員」制度を開始し、今春から留学先でPR活動を行っています。



「NCU名古屋国際PR特派員」認定式の様子



「明るい選挙啓発ポスター絵画教室」の様子

■名古屋市選挙管理委員会との連携

平成30年7月、名古屋市西区在住の小学生を対象に、明るい選挙啓発ポスターのデザイン教室を開催し、芸術工学研究科の学生が講師としてポスターデザインを指導しました。また、31年2月に執行された愛知県知事選挙では、期日前投票所が滝子(山の畑)キャンパスに設置され、人文社会学部の学生が運営に携わりました。

■学生による子ども虐待防止に向けたキャンペーン

平成30年12月、子育て中の保護者や子どもたちにオレンジリボン(子ども虐待防止のシンボル)について理解を深めてもらうため、人文社会学部の学生が脚本・演出・出演する人形劇を行いました。この取組は、瑞穂区役所との連携の一環で行われたもので、学生と区職員が共同で企画・運営を行いました。



人形劇上演の様子



授乳室のデザインの様子

■地下鉄名古屋駅構内授乳室のデザイン

平成30年10月、名古屋市交通局からの受託事業として、芸術工学研究科の教員と学生が、地下鉄桜通線名古屋駅構内に設置された授乳室をデザインしました。子育て中の母親がリラックスして授乳できる雰囲気になるように、壁面や天井へのペインティングの他、飾りつけ等を行いました。

■「スポーティブライフin瑞穂」ブース出展

平成30年11月に開催された同イベントに看護学研究科の教員が出展し、酸素飽和度やヘモグロビン測定から酸素運搬量の計測を行いました。喫煙者などの酸素運搬量は若い人でも少ないことや、よく運動する人は心拍数が少ないといった、見た目からは分からない身体の情報を提供しました。



ブースでのヘモグロビン測定の様子



瑞穂区水防訓練での実演の様子

■学生消防団の活動

名古屋市学生消防団の一員として、防火・防災の普及を目的に活躍しています。平成30年度は、瑞穂区民への水防工法の実演や、市大病院実施の災害訓練に参加して患者受入時の誘導を行いました。また、市大祭では防災クイズ、応急手当体験等のコーナーを設け、防災知識を普及しました。

企業・地域住民との連携

■ ヴィド・フランスとの連携

平成26年度から名古屋市交通局との連携により、経済学部の学生が駅構内店舗設置の提案を行っており、30年5月には提案内容を生かした店舗として「ヴィドフランス上前津店」が開業しました。開業後も同店舗との連携をすすめ、30年10月には、学生が駅利用者を調査して開発したパンが同店舗の限定商品として販売されました。また、特に好評だったパンは全国でも販売されました。



試食会・意見交換の様子



学生による提案発表の様子

■ ネットヨタ東名古屋との連携

経済学部では、ネットヨタ東名古屋(株)と共同プロジェクトを実施しています。平成30年度は、「ネットヨタ東名古屋を舞台とした“次世代の自動車販売店の在り方”の提言」をテーマに、3つのゼミの6チームが取り組みました。30年10月に行われた最終発表会では、インタビュー調査などを踏まえた提案を行い、審査員である企業の方から高い評価をいただきました。



畑でのサツマイモの植え込み作業の様子

■ 御劔学区連携事業「山の畑(はたけ)プロジェクト」

学生と御劔学区住民の協働で、滝子(山の畑)キャンパス内に畑を作り、野菜などを育てる活動を平成28年度から行っています。30年度は、市大祭に学生と地域住民が共同でブースを出展し、サツマイモスティックの販売などで交流を深めました。また、おしゃべり茶話会を開催し、「山の畑(はたけ)プロジェクト」の活動について話し合いました。



学生による接客の様子

■ 滝子商店街連携事業 学生カフェ「たきこーひー」

名古屋市商店街にぎわい創出支援事業の1つとして、本学有志の学生が滝子商店街の空き店舗を活用した喫茶店を運営しました。学生が店舗レイアウト、チラシ作成、運営までを行いました。平成30年11～12月の開催期間中に沢山の地域住民の方に利用していただき、学生と地域住民との交流の場を設けることができました。

学生の社会貢献活動が全国大会で最優秀賞を受賞

平成30年10月に開催された全国公立大学学生大会(LINKtopos)において、本学学生の「山の畑(はたけ)プロジェクト」等の社会貢献活動が、最優秀賞を受賞しました。

本学では28年度から、社会貢献活動を行う学生団体による、活動報告や意見交換などを行う発表大会「名市大LINKtopos」を開催しています。30年度は12月に開催し、7団体による発表、グループワークなどを行っており、こうした取組により磨きぬかれた本学の活動が評価された形になります。

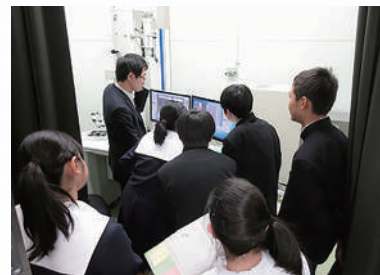


「名市大LINKtopos」でのグループワークの様子

小中高生向け事業

■ 中学生職場体験学習

医学研究科では、中学生を対象に主体的に自己の進路を選択・決定するなど、将来社会人・職業人として自立することができるように職場体験学習を実施しています。大学の研究・教育を知ってもらい、共同利用施設内に設置されている先端機器に触れ、研究の現場を体験することで、科学の楽しさ、不思議を実感することができます。



電子顕微鏡見学の様子



実験の様子

■ ひらめき☆ときめきサイエンス

中高生を対象に科学の面白さに接し、大学での研究活動を知ってもらうため「名古屋市大ひらめき☆ときめきサイエンス事業」を開催しています。平成30年度は8月に「筋肉」「人工知能」「病気予防」のテーマで、実験やパソコンを使ったプログラミングを行い、昼食会では教員や学生と交流するなど、大学の雰囲気を味わえるプログラムを実施しました。

■ 薬学教室・おもしろ科学実験

瑞穂区役所との連携の一環として、平成30年8月に小中学生を対象として実施しました。「薬学教室」は、参加者が薬学部の学生から丁寧に手順を教わり、化学実験や調剤実習に挑戦しました。「おもしろ科学実験」は、総合生命理学部の学生による解説の後、物理の原理を利用した実験や工作を行いました。



「おもしろ科学実験」の様子



グループワークの様子

■ 夏休み学習教室「つくってみよう!自分の未来図」

平成30年8月に、(株)愛知銀行との連携事業として、中学生を対象に大学と金融機関相互の強みを生かした金融リテラシー向上の取組を実施しました。「将来設計とそのために必要なお金」をテーマに、経済学部の学生と愛知銀行の若手行員のサポートを受けながら、お金に関する疑問などを理解し、自分の未来図(ライフプラン表)を作成しました。

WEB版 地域連携 事例集

上記の事例の他、本学の主な地域連携事例について、事例ごとに内容・ポイント・事業実施者などを1つの個票としてまとめ、集約した「WEB版地域連携事例集」を公開していますので、是非ご覧ください。

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/science/contribution/renkeijirei/index.html>



病院における地域医療への貢献

名古屋市立大学病院は、地域の中核医療機関として、高度かつ安全で開かれた医療を提供するとともに、質の高い医療人を育成しています。

■ 救急・災害医療の取組

災害時の患者受入をスムーズに行うため、毎年災害訓練を実施しています。地域住民の方や学生が模擬患者になり、自衛隊救急車による搬送を行うなど、本番さながらの緊張感を持って訓練に臨んでいます。瑞穂区役所、消防署、警察署とも連携を図り、普段から顔の見える関係づくりにも取り組んでいます。



災害訓練での患者受入の様子

■ 地域医療連携の推進

当院は、一般の医療機関では実施することが難しい手術や先端医療・高度医療などを担う特定機能病院として、地域の病院及びクリニック等と相互に協力・連携し、診療を行っています。

生涯学習講座・施設開放

本学は、幅広い世代に生涯学習の機会を提供し、また大学施設を開放するなど、「地域に開かれた大学」として社会貢献に努めています。

I 生涯学習講座の実施

市民の方のニーズに応えるとともに、気軽に本学の教育研究成果に触れていただけるよう、次のような講座を開催しています。

市民公開講座

■ 7学部7研究科及び附属病院による講座

全学部・研究科及び附属病院が、最新の研究成果や市民の方の関心の高い「健康」などをテーマに「市民公開講座」を開催しています。

平成30年度は9月から11月にかけて、「口腔ケア」「介護予防」「国際問題」「数学」などの多彩なテーマで講座を開催しました。

■ 大学発!ハッピー子育て講座

市民公開講座の特別企画として、乳幼児期の子育てに関する講義を行うもので、平成30年度は9月に「スキンケア」「しつけ」の2テーマで講座を開催しました。お子様



子育て講座の様子

と一緒に受講できるように、会場にキッズスペースや見守り託児を設けており、参加者は不安・疑問に思っていることなどを共有・解消することができました。

生涯学習センターとの共催講座

■ 千種生涯学習センター共催講座

芸術工学研究科では、千種生涯学習センターとの共催講座を毎年開催しています。平成30年度は「街・建築・時間」と題し、建築都市領域の講師が週替わりで現地学習を行いました。歴史の継承を支援する減災計画、近現代



千種生涯学習センター共催講座の様子

の都市形成とその遺産、歴史的な建物を使い続けるために大切なこと、城下町から見る現代都市をテーマに開催しました。

リカレント教育講座

本学では高等教育機関の特性を生かし、医療従事者の職場復帰促進及び最新の医療に対応できる人材育成などを目的とした社会人・専門職の方々へのリカレント(学びなおし)教育に力を入れています。

名古屋市立大学薬学部卒業教育講座

現場で働く薬剤師を対象に、昭和60年に画期的な講座として開始し、生涯教育が盛んとなった現在も続けられています。取り上げるテーマが臨床だけではなく、最先端の基礎薬学にも及んでいる点が特徴です。本講座は名古屋市立大学卒業生以外にも門戸が開かれており、地域の薬剤師の研さんに貢献しています。

関連講座一覧

- 医療・保健学びなおし講座
(文科省職業実践力育成プログラム(BP)認定)
- 東海薬剤師生涯学習センター講座
- なごや看護生涯学習セミナー

「東海薬剤師生涯学習センター講座」の様子



■ 昭和生涯学習センター共催講座

看護学研究科では、昭和生涯学習センターとの共催講座を毎年開催しています。平成30年度は「いつまでも健康でいきいきと!～自分に合った元気のヒントを見つけよう～」と題し、「からだの機能の変化と生活上の注意」、からだの健康づくりとして「食生活のヒント」、「運動のヒント」、こころの健康づくりとして「ストレス対策のヒント」をテーマに開催しました。

本学では、このほかにも多くの生涯学習講座を実施しています。詳細は、例年2月と8月の年2回発行している生涯学習情報誌「知の広場」、またはウェブサイトをご覧ください。
<https://www.nagoya-cu.ac.jp/science/contribution/event/>



II 大学・病院施設の開放

公共的・公益的な各種資格試験や学術講演会等の開催会場として、教室、ホール、会議室などの大学・病院施設を一時貸付しています。

また、学術研究を目的とした市民の方に対する所蔵図書等の閲覧・貸出も行っています。

		平成28年度	平成29年度	平成30年度
生涯学習講座	講座数	126	124	135
	受講者数	7,332人	7,408人	7,589人
大学・病院施設の貸付件数		658件	831件	935件
総合情報センター(図書館)の市民利用者数		1,679人	1,404人	1,187人

イベント等開催報告

本学が開催した生涯学習講座などのイベントの様子について「イベント等開催報告」として大学ウェブサイト上で公開していますので、是非ご覧ください。

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/science/contribution/report/index.html>



地域貢献度ランキング

日本経済新聞社が、全国748の国公立大学を対象に行った「大学の地域貢献度に関する全国調査2017」において、本学は、東海地域で総合ランキング第1位（全国15位）となりました。この調査は、大学が教育や研究などを通じて地域社会にどのような貢献をしているのかを探るものであり、教職員・学生による地域貢献の組織的な取組が評価されています。

ご寄附のお願い

名古屋市立大学では、高いレベルの教育、研究、医療などの活動を展開し、市民に開かれた大学づくりを実践していくために、寄附金を募集しております。

【お問合せ先】（土、日、祝日、年末年始を除く 9時～17時）

学術奨励寄附金について（学術研究に対するご支援）	学術課 ☎052-853-8041
開学70周年記念事業寄附金について （記念事業に対するご支援） 大学振興基金について（大学運営全般に対するご支援） 名市大生みらい応援基金について （経済的理由により修学に困難がある学生の修学に対するご支援） 現物資産活用基金について （有価証券等の現物資産によるご支援）	総務課 ☎052-853-8005
さくら基金について（附属病院の運営に対するご支援）	経営課 ☎052-858-7113

アクセス案内



- ▼ **桜山(川澄)キャンパス** 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1
 地下鉄 | 桜通線「桜山駅」下車3番出口
 市バス | 金山⑦のりばより金山12「市立大学病院」下車
 | 金山⑧のりばより金山14(桜山経由)「市立大学病院」下車
- ▼ **滝子(山の畑)キャンパス** 名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1
 地下鉄 | 桜通線「桜山駅」下車5番出口から徒歩12分
 市バス | 金山⑦のりばより金山11・12・16「滝子」下車
 | 金山⑧のりばより金山14(桜山経由)「滝子」下車
- ▼ **北千種キャンパス** 名古屋市千種区北千種2-1-10
 市バス | 名古屋駅バスターミナル内⑩番のりばより基幹2「萱場(かやば)」下車
 | 栄③のりば(オアシス21)または、栄(北)②のりば(路上)より基幹2「萱場」下車
 | 千種駅前②のりばより千種11「清明山」下車
 | 池下③のりばより幹砂田1(清明山経由)「清明山」下車
- ▼ **田辺通キャンパス** 名古屋市瑞穂区田辺通3-1
 地下鉄 | 桜通線「瑞穂区役所駅」下車1番出口から徒歩15分
 | 名城線「総合リハビリセンター」駅下車1番出口から徒歩15分
 市バス | 金山⑦のりばより金山16「市大薬学部」下車
 | 金山⑧のりばより金山14「市大薬学部」下車

発行

(2019年5月)

名古屋市立大学社会連携センター（事務局学術課内）

電話番号：052-853-8041 FAX番号：052-841-0261 E-mail：shakaikoken@sec.nagoya-cu.ac.jp

※このパンフレットは再生紙を使用しています。